

12月定例ミーティング

2014.12.21

日時：平成26年12月21日（日）15：00～

場所：大学生協杉並会館

参加者

M2：20名 M1：15名 D1：1名 計：36名

1. 参加者あいさつ

自己紹介，近況報告

2. 活動報告

1. セクション報告

a) スポーツセクション（テニス）11/22（土）

@東工大 10名

b) 旅セクション 11/23（日）

@鎌倉 10名

c) 美術体験型セクション 12/9（火）

@ティム・バートン展 参加者3名

d) ビブリオバトル 12/21（日）

@大学生協渋谷会館 参加者4名

2. 東京ブロック大会 12/6（土）

@和光大学

・第1部 運営委員会

・第2部 活動交流会

3. 院ミグッズについて

・USBのタイプ スイングタイプ

・柄の決定 第1候補

以上のように決定。現物との兼ね合いで多少の柄の変更の可能性あり。

4. 2014年活動振り返り

2014年活動目標

・仲間を増やす

・認知度の向上

・生協に関わる

1年間の活動内容

- ・冬合宿　・浅草めぐり　・各大学新歓活動　・夏の院生交流会　・夏合宿
 - ・サマースクール参加　・院生セミナー　・秋の院生交流会　・大同窓会
- 通年通して・・・セクション活動

班別意見交流

5. 学年別ミーティング

M1

- ・2015年役割決定

代表、副代表、セクション管理者、会計担当、広報局長、Web・HP

ブログ・Twitter、全国院生委員、ブロック運営委員はそれぞれ1名ずつ決定。
機関紙は未定。

2015年方針は臨時定例（12/23予定）等で決定予定

浅草めぐりのスタッフ募集も臨時定例を利用する。

M2

次世代の中核を担うメンバーの層が薄いという意識を現M1は思っている。中核を担うメンバーが育つためにはどうしたらよいか検討することが必要。

提案として2点

- ・5月定例で夏交流スタッフの募集を開始する。
- ・5～6月の間で、意識的にセクションを集中させる。

次世代の中核メンバーになりうる交流会スタッフを効果的に集めることを目的にする必要がある。そのために、人を「集めること」と「定着させること」の2つを考える必要があり、今年の結果からみると、集めることに関しては春交流が一番効果的であるといえる。課題は定着させることに課題があると考えられるので、先の2点の提案が挙げられる。

6. お知らせ・今後の予定

- ◆ 次回1月定例

日時：1月24日（土）

場所：大学生協杉並会館

以上